

大隅地域感染症情報

2019年第6週報（2月4日～2月10日）

発行：大隅地域振興局保健福祉環境部

○全数把握疾患の報告数

	鹿屋保健所管内	志布志保健所管内
一類感染症	該当なし	該当なし
二類感染症	該当なし	該当なし
三類感染症	該当なし	該当なし
四類感染症	日本紅斑熱：1件	該当なし
五類感染症	侵襲性肺炎球菌感染症：1件	該当なし

※速報値であり、後日修正になる可能性があります。

○定点把握疾患の報告数

- ・インフルエンザについて、県全体に警報発令中です。管内では、鹿屋保健所、志布志保健所共に減少傾向ではありますが警報の基準値を上回っています。
- ・水痘について、県全体の警報は解除されていますが、鹿屋保健所管内は警報の基準値を上回っています。
- ・鹿屋保健所管内の感染性胃腸炎について、先週より減少しましたが、警報の基準値は上回っています。

疾病	警報レベル 開始/終息 基準値	注意報 基準値	鹿屋保健所管内推移				志布志保健所管内推移				大隅全体	県全体
			3週	4週	5週	6週	3週	4週	5週	6週	6週	5週
インフルエンザ	30.00/10.00	10.00	84.25	68.13	51.25	44.38	53.20	60.80	45.40	34.00	40.38	39.49
RSウイルス感染症	-	-	0.20	0.40	0.80	0.40	0.00	0.00	0.33	0.00	0.25	0.46
咽頭結膜熱	3.00/1.00	-	1.00	1.80	1.20	1.20	0.33	0.33	0.00	0.00	0.75	0.81
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8.00/4.00	-	0.80	1.20	1.40	2.20	0.33	0.33	0.67	0.67	1.63	2.74
感染性胃腸炎	20.00/12.00	-	15.60	20.20	25.20	15.20	8.00	9.67	9.33	8.67	12.75	10.76
水痘	2.00/1.00	1.00	1.00	2.20	1.40	1.80	0.00	0.33	0.67	0.33	1.25	0.74
手足口病	5.00/2.00	-	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.19
伝染性紅斑	2.00/1.00	-	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.67	0.00	0.00	0.11
突発性発疹	-	-	0.20	0.20	0.40	0.60	0.00	0.00	0.00	0.00	0.38	0.35
ヘルパンギーナ	6.00/2.00	-	0.00	0.00	0.00	0.00	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00	-
流行性耳下腺炎	6.00/2.00	3.00	0.20	0.40	0.20	0.20	0.00	0.00	0.33	0.33	0.25	0.17
急性出血性結膜熱	1.00/0.10	-	0.00	0.00	0.00	0.00						-
流行性角結膜炎	8.00/4.00	-	1.00	1.00	1.00	1.00						2.14
細菌性髄膜炎	-	-	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.08
無菌性髄膜炎	-	-	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.08
クラミジア肺炎	-	-	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-
感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)	-	-	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-
インフルエンザ入院患者(人)	-	-	5	10	6	4	3	2	2	1	-	

警報基準値以上

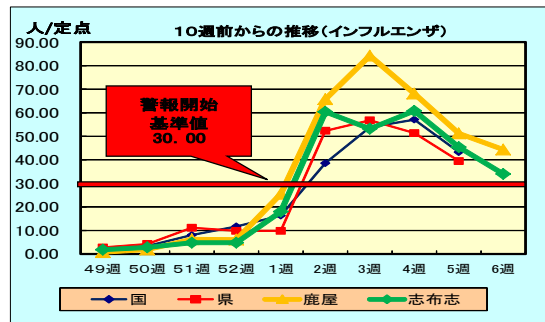
注意報基準値以上

○インフルエンザについて **県全体に警報発令中！**
【 警報開始基準値 30.0, 警報終息基準値 10.0, 注意報基準値 10.0 】

インフルエンザの発生状況は、
 鹿屋保健所管内からは355名(定点当たり報告 44.38)
 の報告があり、**警報の基準を上回っています。**

志布志保健所管内からは170名(定点当たり報告
 34.00)の報告があり、**警報の基準を上回っています。**

年齢別では、10～14歳が最多でした。



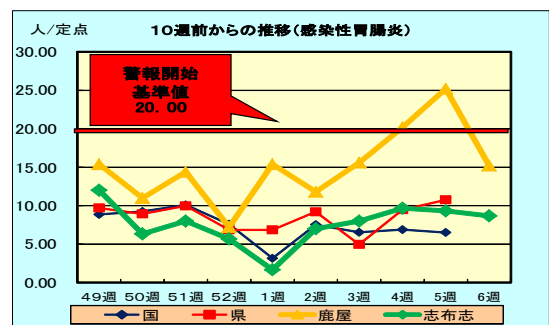
※第6週は鹿屋・志布志のみ掲載

○感染性胃腸炎について
【 警報開始基準値 20.0, 警報終息基準値 12.0 】

感染性胃腸炎の発生状況は、
 鹿屋保健所管内からは76名(定点当たり報告 15.20)
 の報告がありました。

志布志保健所管内からは26名(定点当たり報告数 8.67)
 の報告がありました。

年齢別では、3歳が最多でした。



※第6週は鹿屋・志布志のみ掲載

感染性胃腸炎の報告が増加中！

感染性胃腸炎とは、ウイルスや細菌など様々な病原体による感染症ですが、11月～3月に
 かけては「ノロウイルス」によるものが主に流行します。
 ノロウイルスは感染力が強く毎年集団発生が起こっていますので、注意が必要です。

【症状】

嘔吐、下痢、腹痛、発熱 など

※ウイルスは、症状が治まった後も数日は便の中に排泄されるため、
 注意が必要

【主な感染経路】

- ・ 汚染された食品を生、または十分な加熱をしないで食べた場合
- ・ 感染した患者の便や吐物などに触れた手等から口に入る場合
- ・ 感染した人の調理や配膳などにより汚染された食品を食べた場合

【予防方法】

基本的な衛生習慣を身につけることが大切です。

食中毒の一般的な予防方法を守り、患者との濃厚な接触を避けましょう。

- ・ 手洗いとうがいを励行しましょう
- ・ 吐物などは適切に処理し、汚染された場所は塩素系消毒剤で消毒しましょう
- ・ 食品は十分に加熱しましょう
- ・ 症状がある方は、食品の調理を控えましょう

